

## 平成 16 年度 第 5 回常任理事会 速報録

日 時 平成 16 年 8 月 25 日 (水) 午後 3 時 ~ 5 時 30 分  
場 所 名古屋マリオットアソシアホテル・アイリス  
出席者 22 名 + 委任状 4 通 (定数 26 名)、顧問・参与等 12 名

明日開催の第 45 回日本人間ドック学会の高木弘学会長 (JR 東海総合病院長) から挨拶が行われた後、議事に入った。

### 〔承認事項〕

#### 1. 会員の入退会について

宮崎県・野崎病院等正会員の入会が 2 件及び (株) ナイチンゲール等賛助会員の入会 4 件と退会 2 件について諮られ承認された。計、正会員数は 2,713 病院 (公的 957、私的 1,756、総病床数 71 万 2000 床)、賛助会員数は 530 会員となった。

#### 2. 厚生労働省及び各団体からの依頼について

公開シンポジウム「子どもと親が安心して医療を受けられるための医師・コメディカルの役割と協働」(依頼元:小児科産科若手医師の確保・育成に関する研究班)の後援等 15 件の依頼事項について諮られ承認された。

#### 3. 人間ドック・健診施設機能評価の認定について

人間ドック・健診施設機能評価の 6 施設に対するパイロットスタディの結果、5 施設に認定証を、1 施設に感謝状を交付することとして承認。

### 〔報告事項〕

#### 1. 各委員会、研究研修会の開催報告について

(1) インターネット委員会 (8/4) ...病院視察調査、第 2 回インターネットシンポジウム、インターネット会議システム、日病のロゴマーク作成についてそれぞれ担当委員を決め、進めることとした。ロゴマークについては、制作会社の案をもとに検討する考えが示された。

(2) 地域医療委員会 (8/10) ...特定機能病院について、病床数基準の 500

床から 400 床への緩和など承認要件の変更を踏まえ、地域医療における位置付けについて社保審医療分科会の鴨下会長と意見交換した。医療機関の休日・夜間勤務の適正化指導に絡み、救急医療と医師の勤務体制をめぐって議論した。12 月には見解をまとめたい。

- (3) 病院経営管理者教育委員会 (8/13) ... 本通信教育を MBA の教育に近づけたいという山本会長の意向もあり、委員会としても高い目標をもって臨むこととした。教科書や試験のあり方、教育対象についても討議した。
- (4) 雑誌・ニュース編集委員会 (8/20) ... 雑誌 10・11・12 月号の企画、編集を行った。今年度の研究会活動中止で従来からの編集体制が組めず、今後のネタ切れに備えて新規企画を考えることとした。表紙、判型の変更については次回決定し、英文誌 2004 年版はこれから制作段階に入る。ニュースの新企画で病院経営改善に関するコーナーを設けることとし、雑誌掲載記事に対するクレームについて検討、その回答を済ませた。
- (5) 医療制度委員会 (8/24) ... 委員会のテーマである国民皆保険制度についてはこれを評価し、人生 80 年時代に合った制度構築を目指すという方向を決めた。保険者と被保険者との構造という問題もマスコミにアピールして行きたい。更に高齢者医療、病院外来の問題について討議し、医療従事者のストレス調査の件は常任理事の施設に調査票を送付した。9 月にはまとめる予定とされる。
- (6) 研究研修会報告... 病院長・幹部職員セミナー (8/5~6 大阪、315 名。「医療改革の問題点」等特別講演 3 題、シンポジウム 3 題、トピックス 1 題)、 診療情報管理士生涯教育研修会 (6/13 東京、7/10 大阪、7/24 福岡、計 798 名。「緊急特番 DPC 導入で診療情報管理士は何を担うか」)、 診療情報管理課程・分類法指導者研修会・講師会 (8/8~9 日病、26 名。分類法演習の指導者育成のための研修会)

## 2. 四病協諸会議の開催報告について

- (1) 医療制度委員会 (8/4) ... 新メンバーの第 1 回委員会を開き、平成 16 年度委員会の検討テーマとして「市場原理と医療制度」「医療計画の見直しと医療提供体制、診療報酬制度等」「地域医療と医療連携」という 3 点を挙げ、了承された。

(2) 8人委員会(8/13)...四病協研修センターの位置付けについて、全体の組織図を含めてまとめた。総合部会に提出する。研修センターは8人委にぶら下がり四病協の直結とし、役員会と各養成・認定事業の4委員会で構成する。9月の日医との懇談会では「小児救急医療のあり方」を取り上げることとした。

(3) 総合部会(8/18)...厚労省の「医療用医薬品の流通改善に関する懇談会」の準備作業会が開かれたが、病院側として現行の薬価調整幅の2%では管理費として不十分である旨を伝えた。日医・四病協懇談会の第2回の案件について協議し、この窓口との関連で8人委員会の性格と名称を再検討することとした。「資金調達のあり方に関する研究報告」と「障害者保健福祉制度と介護保険制度との統合に関する見解」を発表することとし、全国知事会の補助金削減案問題については次回検討する。「中医協へ病院団体の代表を参画させること」という要望書の扱いについて、その後の動きがないので、別途日病単独で要望提出した旨の説明を行い、この問題について議論した。

以上の報告に対して、各理事から、中医協に病院代表を委員として参加させるよう引き続き要望するべきである旨の発言があり、昭和30年代には中医協に日病推薦の代表がいたという歴史的事実も明らかにされた。また、もう一度四病協がじっくりと話し合っ、この機を外さず行動すべきであるなどと意見が出たが、山本会長は、本日の常任理事会の決議として、「日病としてしっかりしたスタンスをとってやっていく。更に、先の細かいことは改めて考えたい」とまとめ、拍手をもって了承された。

### 3. 日医・医事法関係検討委員会 / 診療情報の提供に関する指針検討委員会 合同委員会の開催報告(8/4)について

「個人情報の保護に関する法律」の平成17年4月施行に向けて、日医が取り組む施策を検討する会の第1回を開いた。当日は検討すべき情報の範囲など問題点が指摘され、来年1月には答申の予定。

### 4. 厚生労働省等からの通知について

(1) 8/13付、厚労省医政局長から都道府県知事あての「いわゆる「出資額限度法人」について」の通知文書を紹介。

## 5．診療情報管理士の現況調査について

診療情報管理士教育委員会から診療情報管理士の認定者 7,416 人にあてて、8/1 付で「診療情報管理士の現況調査」のアンケート票を配布した。データ集計後報告する旨の説明。

## 6．その他

- (1) 日本医療機能評価機構・改定部会の開催報告(8/23)...病院機能評価の評価項目をバージョン4から5に変更する作業を進めており、一部包括などして来年8月からバージョン5で行くことになるが、この評価項目の変更(案)について関係団体の意見を聞くこととしたのでお願いしたい旨の説明。
- (2) ライフサイエンス研究におけるヒト遺伝情報の取扱い等に関する小委員会等の合同委員会の開催報告(8/20)...この会は、遺伝情報等の個人情報保護の研究における倫理上の課題について検討するのが目的で、関連の委員会が動いている文科、厚労、経産3省の委員会の合同会議を開催した。具体的には「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」の見直しである旨の報告。

## 〔協議事項〕

### 1．医療費、医療制度、医療保険制度について

昨年7月、特定機能病院に適用し、今年4月から7月にかけて適用拡大したDPCについて議論した。今年7月に手上げた結果、コスト計算を含めてアップしており、医師の診療態度も入院患者に対して退院できる状態を考慮するように変化しているなどの例も示された。

また、粗診粗療の心配に対しては、一度それをやると患者が離れるほうが恐い、中小病院の立場からみると急性期を減らすための道具に見える、自分の病院の位置付けをどうするかが迫られているなどと論議した。